資料　1

香南市自転車を活用したまちづくり計画

（自転車活用推進法に基づく香南市自転車活用推進計画）

フェーズ１～フェーズ２への移行を見据えたアクションプラン改訂

（令和８～10 年度）

チリリンこうなん！

令和８（2026）年３月

香南市

～ 目 次 ～

序　章　現行計画の改定に至る経緯 1

第１章　フェーズ 1.5 アクションプラン策定の考え方
（フェーズ１～２への移行を見据えた位置づけ） 2

第２章　フェーズ１アクションプランの総括 2

２-１　フェーズ１のアクションプランの実施状況及びその評価 2

２-２　フェーズ 1.5 に向けた課題整理及び基本方針 5

第３章　フェーズ 1.5 アクションプラン 6

３-１　フェーズ 1.5 における取組一覧 6

３-２　重点取組 9

第４章　フェーズ 1.5 の推進体制と実施スケジュール 14

４-１　推進体制 14

４-２　実施スケジュール 15

巻末資料

巻末-１　フェーズ１における取組とその成果（個票） 巻末-1

序　章　現行計画の改定に至る経緯

令和３（2021）年度に香南市（以下、「本市」という）が策定した「香南市自転車を活用したまちづくり計画」（以下、「現行計画」という）は、令和７（2026）年３月末をもって計画期間である５年が経過しました。図１に示すように、現行計画では上記５年間をフェーズ１と位置づけ、自転車に関する「環境」「教育」「健康」「観光」の各分野に位置づけた取組みを実施し、KPI（重要業績評価指標）として掲げた目標値の達成をもってフェーズ２へと進む予定としていました。

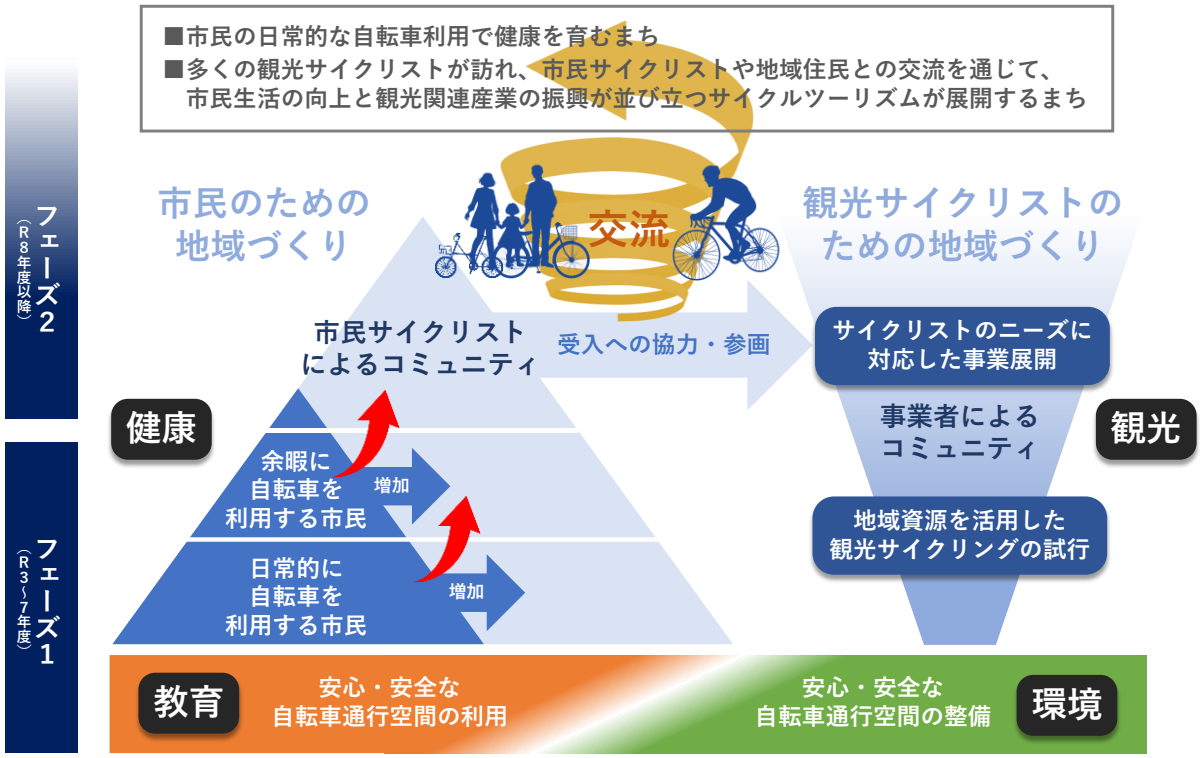


図１　香南市の自転車を活用したまちづくりの将来ビジョン（計画の基本理念）

現行計画の推進状況は各分野の専門部会及び現行計画の策定委員会によって、年度ごとに確認され、取組み内容の改善を図ってきましたが、目標値を下回るものも多く、十分な成果が上がっているとは言えない状況でした。

そこで、現行計画を当初の想定どおりフェーズ２へ移行するのではなく、内容を見直すこととしました。具体的には、令和８（2026）年度からの３年間をフェーズ 1.5 と位置づけ、フェーズ２に向け特に重要な取組みを「重点取組」として整理し、集中的に推進します。あわせて、令和 10（2028）年度にフェーズ１及びフェーズ 1.5 の成果を評価し、その結果を踏まえて改定版（フェーズ２）を策定します（図 2）。

この計画は、フェーズ 1.5 に係る取組み及びその目標を整理した計画（以下、「本計画」という）として取りまとめたものです。

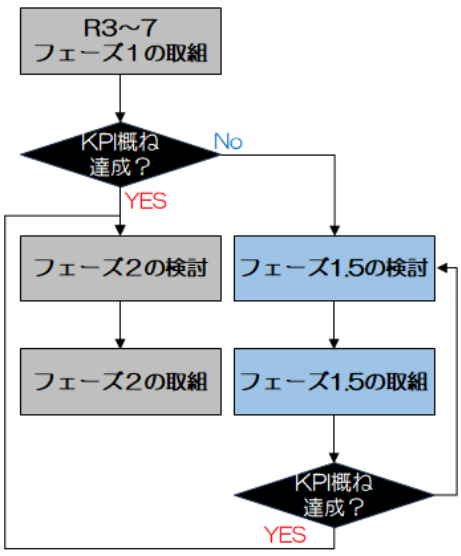


図２　計画改定の考え方

第１章　フェーズ 1.5 アクションプラン策定の考え方（フェーズ１から２への移行を見据えた位置づけ）

本章では、フェーズ１からフェーズ２への移行期間として位置づけたフェーズ 1.5 アクションプランについて、策定にあたっての考え方を以下に示しました。

① 現行計画のアクションプランに掲げた全 15 の取組について、具体的な取組内容の実施状況（インプット）及び KPI に掲げた 13 の目標値の達成状況（目標値に対する実績値）を整理し、現状の確認及び分析を行いました。

② 「環境」「教育」「健康」「観光」の各分野における現行計画の取組状況を俯瞰し、分野横断的な課題を整理したうえで、フェーズ 1.5 に向けた基本方針を設定しました。

③ 上記①及び②の分析及び課題整理の結果を踏まえ、次期計画への移行に向けた「重点取組」を抽出しました。

④ 以上の検討結果を踏まえ、本計画の推進体制および実施スケジュールを検討し、フェーズ 1.5 アクションプランとしてとりまとめました。

上記①については第２章２－１節に、②については２－２節に、③については第３章に、④については第４章において具体的に記載しました。

第２章　フェーズ１アクションプランの総括

2-1. フェーズ１のアクションプランの実施状況及びその評価

フェーズ１にあたる５か年では、「環境」「教育」「健康」「観光」の４分野において、全 15 の取組みを位置づけ、13 の KPI を設定のうえ、各施策を推進してきました。本節では、フェーズ 1 におけるアクションプランの実施状況及び KPI に掲げた目標値の達成状況について整理し、その評価を行いました。

次頁の表１に、フェーズ１アクションプランの実施状況及び KPI 達成状況を示しました。同表より、当初の計画どおりに具体的な取組みを実施し、KPI として掲げた目標値を達成したものがある一方で、取組みが未実施に終わったものや、当初想定していた規模を縮小して実施したものもありました。これに伴い、KPI に掲げた目標値についても、達成に至ったものと未達となったものが混在する結果となりました。

表１　フェーズ１アクションプランの実施状況及び KPI 達成状況

（注：各取組・事業の実施状況について、具体的な実施結果を「実施」「規模縮小」「未実施」の区分により凡例で示している。）

分野	戦略の柱	取組の柱	具体的な取組・事業	内容　●実施　●規模縮小　●未実施	目標項目	年度	基準値	フェーズ１における達成状況・KPI達成度 R3	R4	R5	R6	R7	課題の分野 財源	人材	体制	対象	評価及び課題の整理
健康	自転車を活用した健康づくり	自転車に親しむ機会の拡充と市民サイクリストの育成	1）健康サイクリング等の開催	●座学を取り入れた健康サイクリングの開催（毎月第１日曜日） ※R6より年間３回の実施に変更 ●広報誌等を通じた告知と自転車の健康効果の啓発 （壮年期男性を中心に市民の生活習慣病への関心度を高める）	健康サイクリング参加人数（人）	目標値	—	120	140	160	45	60					継続して参加してくれる方が一定数いたが、リサーチ不足によりターゲットの壮年期の方のニーズに合ったイベントが開催できず、イベントに参加される壮年期の方の人数が少ない事が課題である。
						実績値	39	37	79	38	13	27				○	
						達成度	—	C	C	C	C	C					
		誰もが自転車で走れる機会づくり	2）タンデム自転車の利用促進	●タンデム自転車のレンタル（香南市サイクリングターミナル） ●タンデム自転車講習会の開催（パイロット育成教室含む）	タンデム自転車講習会の参加人数（人）	目標値	—	20	20	20	20	20					タンデム自転車講習会を実施しパイロット認定者数は増加することができたが、パイロット認定者と障がい者の方とをつなぐ体制が取れていない為、障がい者の方の健康づくりにつながっていない事が課題である。
						実績値	21	—	6	8	中止	中止			○	○	
						達成度	—	—	C	C	—	—					
観光	サイクルツーリズムの推進	観光サイクリストの受入体制づくり	1）レンタサイクル推進事業	●拠点施設でのレンタサイクル ●道の駅やす観光サイクリング事業（レンタサイクル施設の整備と併せた取組） ●レンタサイクルサービスの拡充（施設間での自転車の融通と乗り捨てできる仕組みの導入） ●レンタサイクル貸出後のトラブル対応（サイクルサポーターや整備士による対応を想定） ●周遊型サイクル観光の推進（二次交通としての自転車＋公共交通への自転車積載、送迎など）	市内レンタサイクルの総貸出台数（台）	目標値	—	2,600	3,100	3,220	3,340	3,460					市のサイクルイベントでの利用、「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」の実施により市民への周知は十分にできている。しかし、各事業所での利用も地元住民の利用がメインとなっており、ターゲットの観光客の利用には繋がっておらず観光客のニーズのリサーチ不足及びそれを満たす体制が取れていないことが課題である。
						実績値	2,361	2,437	2,982	1,917	1,672	1,607			○	○	
						達成度	—	B	B	C	C	C					
			2）サイクリングガイドの育成	●サイクルガイド講習会の開催 ●サイクルガイド人材の登録制度の導入	サイクルガイド講習会の参加者数（人）	目標値	—	—	5	5	5	5					サイクリングガイドの講習会を実施できる人材がいない事、サイクリングガイドの位置づけができておらず、産業振興との連携体制が取れていない為、人材育成の方向性が不明瞭である点が課題である。
						実績値	—	—	0	0	0	0		○	○		
						達成度	—	—	C	C	C	C					
		サイクリストに向けたプロモーション	3）サイクルイベントの開催	●高知シクロクロス　ヤシィシクロクロスカップの開催 ●ツール・ド・香南トレインの催行 ※R3のみ実施 ●三市ロングライドの実現（広域サイクリングルートの整備）	市内サイクルイベントの総参加者数(人)	目標値	580	780	850	920	450	750					市で定期的にイベントを実施しており開催回数については十分実施されている。また、ものべすと周遊ライドも実施し県外観光客の誘致にも繋がった。しかし、小規模なイベントが多く、参加人数を増加する為の大規模なイベントを実施するには財源及び人員が不足していることが課題である。
						実績値	106	135	204	300	479	424	○	○			
						達成度	C	C	C	C	A	C					
			4）サイクリングのPR	●新しいサイクリング周遊マップの配布（初級者コース、中上級者コースを分けて改訂） ※初心者コースのみ配布 ●SNSや動画サイト等を通じた情報発信 ●サイクルイベントでのPR	サイクルイベントでのPR回数（回）	目標値	—	4	4	4	4	4					観光列車自転車で並走しながらお手振りの実施、サイクリング周遊マップやサイクルモード大阪への参加など観光客へのサイクリングのPRは県内外問わず十分達成している。
						実績値	0	—	3	7	5	3					
						達成度	—	—	B	A	A	B					
		サイクリストと交流を支える仕組みづくり	5）サイクルサポーター制度（ソフトの取組）の推進	●サイクルサポーター制度の導入（登録制度の創設とサポーターの募集） ●自動車に貼付する「思いやりステッカー」の配布 ※ステッカーについては個別に評価済。取組みは一定の成果を得たため終了。	サイクルサポーター制度の新規登録者数（人・団体）	目標値	—	—	20	10	5	5					香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンへの参加要件として、「サイクルサポーター制度の認定を受けること」としたことで、登録団体は51団体となり十分に目標を達成している。今後は登録団体の活用方法を検討する。
						実績値	—	—	10	28	13	0					
						達成度	—	—	C	A	A	C					
			6）災害時の避難情報の提供	●サイクルイベント会場における津波避難案内看板の設置 ●サイクリング周遊マップへの避難場所・避難ルートの表示	—	目標値	—	—	—	—	—	—					ツール・ド・香南に「津波避難タワー」の掲載及びR4, R5の健康サイクリングでは津波避難タワー巡りを開催した。また、ものべすと周遊ライドでもスタッフに避難経路を周知し災害時でもサイクリストを安全に誘導できるようにした。
						実績値	—	—	—	—	—	—					
						達成度	—	—	—	—	—	—					
教育	自転車に安全に乗れる人づくり	交通安全意識と交通マナーの醸成	1）交通安全・自転車整備教室の開催	●保・幼・小・中学向け交通安全教室（座学＋実習） ●未就学児向け交通安全教室 ●一般向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習） ●親子向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習）	交通安全・自転車整備教室の開催回数（回）	目標値	—	21	22	22	22	23					防災対策課による交通安全教室を保幼小中に定期的に開催しており、ほぼ目標値に近い回数で開催している。一般向けや親子向けに啓発としてシニアサイクル体験会や健康サイクリングで交通安全の講座を実施している。
						実績値	12	22	22	21	21	22					
						達成度	—	A	A	B	B	B					
			2）ヘルメット着用率の向上	●児童・生徒へのヘルメット購入補助（自転車通学許可者が対象） ●自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助（半額補助・上限2,000円）	自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助制度の利用件数（件）	目標値	—	—	100	100	100	100					防災対策課により実施しており、R5年から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務になったことで申請数も増加している。市民への補助金の普及だけではなく、ヘルメットの着用率をどのように高めるかが課題である。
						実績値	—	—	37	127	58	53				○	
						達成度	—	—	C	A	C	C					
環境	サイクリストにやさしい環境づくり	安全で安心な自転車通行環境の整備	1）一般道路の整備	●自転車ネットワーク計画の充実 ●野市町市街の市道・県道における自転車通行空間の整備 ●目的地までの誘導案内の充実（路面ピクトグラム・サインの設置） ※R3のみ実施	一般道の整備へのブルーライン・ピクトグラム等の設置（件）	目標値	—	3	3	3	3	3					一般道にブルーラインなどの設置は１件のみ実施されており、ものべスト周遊ライド開催にあたり、コース上のくぼみなどの不具合箇所を補修した。ブルーラインの設置については関係課との連携及び取れず設置に至っていない為、関係課と協議し自転車ネットワーク計画を策定し一般道の整備を進める必要がある。
						実績値	—	1	0	0	0	0			○		
						達成度	—	C	C	C	C	C					
			2）自転車道の活用と維持管理	●サイクリングロード（一般県道高知安芸自転車道線）の活用と維持管理 ●物部川右岸河川管理用通路の活用と維持管理	自転車道等の点検（回）	目標値	—	2	2	2	2	2					市主催のサイクリングイベントでサイクリングロード及び物部川右岸を活用し、事前に路面の点検を実施する事で維持管理が出来ている。
						実績値	2	—	1	2	1	2					
						達成度	—	—	C	A	C	A					
		自転車で気軽に立ち寄れる環境の整備	3）サイクルサポーター制度（ハードの取組）の推進	●サイクルラック導入事業の推進 ●こうちサイクルオアシスの推進 ●市内飲食店や利用施設等のサイクルサポーターへの加入促進 ●サイクリストを迎えるお店づくりのためのチェックリストの作成及び運用	サイクルラック設置数（台）	目標値	—	15	15	15	15	15					現在サイクルサポーター(ハード)登録団体にサイクルラックを貸出し市内10カ所に設置しているが、新規登録者数は少ないのが課題であり、新たな分野の市内事業所に呼びかけが必要である。また、登録団体にサイクルラック以外のサイクリストを迎えるお店づくりの提案が実施できていないのが課題である。
						実績値	—	—	2	4	2	0			○	○	
						達成度	—	—	C	C	C	C					
		便利で魅力ある拠点施設の整備	4）道の駅やすの再整備と利活用	●道の駅やすへのレンタサイクル施設の新設（主な対象は観光サイクリスト）	—	目標値	—	—	—	—	—	—					レンタサイクルを開始すると共に、キックバイクイベントやヤシィシクロクロスカップを開催するなど当施設を活用している。
						実績値	—	—	—	—	—	—					
						達成度	—	—	—	—	—	—					
			5）サイクリングターミナルの再整備と利活用	●自転車に特化した合宿・交通安全教室等での利活用に対応した整備 （指定管理更新までにソフト・ハードの整備要件を整理）	香南市サイクリングターミナルの自転車イベント等での利活用（件）	目標値	—	12	14	16	18	20					市のサイクルイベントでは当施設を利用し、市民の方に施設を広く周知することはできている。しかし、健康サイクリングの実施回数の減少等により目標件数には届かない結果となっている為。市のイベントだけでなくサイクリングターミナル独自のイベントの開催や、外部団体での施設の利用も斡旋していく必要がある。
						実績値	—	5	11	16	5	3		○	○		
						達成度	—	C	B	A	C	C					

フェーズ１アクションプランの評価を表２にとりまとめました。取組みごとの傾向を見ると、既存事業の延長として実施可能であったものや、関係主体との役割分担が明確であった取組みについては、比較的計画どおり実施され、一定の成果が確認出来ました。一方で、新たな体制の構築や関係機関との調整を要するものについては「未実施」、あるいは「規模縮小して実施」となりました。

表２　フェーズ１アクションプランの評価
（注：表１の一部を抽出し、編集して再掲）

分野	具体的な取組・事業	KPI 達成度	取組の評価及び課題の整理
健康	健康サイクリング等の開催	概ねＣ	継続して参加してくれる方が一定数いたが、リサーチ不足によりターゲットの壮年期の方のニーズに合ったイベントが開催できず、イベントに参加される壮年期の方の人数が少ない事が課題である。
	タンデム自転車の利用促進	概ねＣ	タンデム自転車講習会を実施しパイロット認定者数は増加することができたが、パイロット認定者と障がい者の方とをつなぐ体制が取れていない為、障がい者の方の健康づくりにつながっていない事が課題である。
観光	レンタサイクル推進事業	ＢからＣ	市のサイクルイベントでの利用、「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」の実施により市民への周知は十分にできている。しかし、各事業所での利用も地元住民の利用がメインとなっており、ターゲットの観光客の利用には繋がっておらず観光客のニーズのリサーチ不足及びそれを満たす体制が取れていないことが課題である。
	サイクリングガイドの育成	概ねＣ	サイクリングガイドの講習会を実施できる人材がいない事、サイクリングガイドの位置づけができておらず、産業振興との連携体制が取れていない為、人材育成の方向性が不明瞭である点が課題である。
	サイクルイベントの開催	概ねＣ 直近Ａ	市で定期的にイベントを実施しており開催回数については十分実施されている。また、ものべすと周遊ライドも実施し県外観光客の誘致にも繋がった。しかし、小規模なイベントが多く、参加人数を増加する為の大規模なイベントを実施するには財源及び人員が不足していることが課題である。
	サイクリングの PR	ＢからＡ 概ねＡ	観光列車自転車で並走しながらお手振りの実施、サイクリング周遊マップやサイクルモード大阪への参加など観光客へのサイクリングの PR は県内外問わず十分達成している。
	サイクルサポーター制度（ソフトの取組）の推進	ＣからＡ	香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンへの参加要件として、「サイクルサポーター制度の認定を受けること」としたことで、登録団体は 51 団体となり十分に目標を達成している。今後は登録団体の活用方法を検討する。
	災害時の避難情報の提供	－	ツール・ド・香南に「津波避難タワー」の掲載及び R4,R5 の健康サイクリングでは津波避難タワー巡りを開催した。また、ものべすと周遊ライドでもスタッフに避難経路を周知し災害時でもサイクリストを安全に誘導できるようにした。
教育	交通安全・自転車整備教室の開催	ＡからＢ 概ねＢ	防災対策課による交通安全教室を保幼小中に定期的に開催しており、ほぼ目標値に近い回数で開催している。一般向けや親子向けに啓発としてシニアサイクル体験会や健康サイクリングで交通安全の講座を実施している。
	ヘルメット着用率の向上	概ねＣ	防災対策課により実施しており、令和５（2023）年から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務になったことで申請数も増加している。市民への補助金の普及だけではなく、ヘルメットの着用率をどのように高めるかが課題である。
環境	一般道路の整備	概ねＣ	一般道にブルーラインなどの設置は１件のみ実施されており、ものベスト周遊ライド開催にあたり、コース上のくぼみ等の不具合を補修した。ブルーラインの設置については関係課との連携及が取れず設置に至っていない為、関係課と協議し自転車ネットワーク計画を策定し一般道の整備を進める必要がある。
	自転車道の活用と維持管理	概ねＣ	市主催のサイクリングイベントでサイクリングロード及び物部川右岸を活用し、事前に路面の点検を実施する事で維持管理が出来ている。
	サイクルサポーター制度（ハードの取組）の推進	概ねＣ	現在サイクルサポーター（ハード）登録団体にサイクルラックを貸出し市内 10 カ所に設置しているが、新規登録者数は少ないのが課題であり、新たな分野の市内事業所に呼びかけが必要である。また、登録団体にサイクルラック以外のサイクリストを迎えるお店づくりの提案が実施できていないのが課題である。
	道の駅やすの再整備と利活用	－	レンタサイクルを開始すると共に、キックバイクイベントやヤシィシクロクロスカップを開催するなど当施設を活用している。
	サイクリングターミナルの再整備と利活用	ＣからＡ 直近はＣ	市のサイクルイベントでは当施設を利用し、市民の方に施設を広く周知することはできている。しかし、健康サイクリングの実施回数の減少等により目標件数には届かない結果となっている為。市のイベントだけでなくサイクリングターミナル独自のイベントの開催や、外部団体での施設の利用も斡旋していく必要がある。

2-2. フェーズ 1.5 に向けた課題整理及び基本方針

フェーズ 1 アクションプランの評価結果を踏まえ、現行計画における課題を次のとおり整理しました。

① 取組が未実施、または規模を縮小して実施したため、KPI の達成に至らなかった。

② 実施体制に実務担当者が配置されていたものの、現行計画において事務局との連携が円滑に進まず、結果として KPI の達成に至らなかった。

③ 取組を進めるなかで、成果指標として設定した KPI が、実際の施策内容や達成可能性を十分に踏まえたものではなかったことが明らかとなり、適切に機能しなかった。

④ 取組の内容や規模に応じた適切な人材・担当者を、関係主体を含めて十分に確保できなかった。

上記①～④の課題に共通する背景として、計画の実施内容に見合った本市における予算（体制含む）確保が十分でなかったことが考えられました。また、②及び④については、現行計画の実施に必要な本市の人材を十分に確保できず、関係機関との連携を含む実施体制に支障を来したことに起因する課題であると整理しました（第４章「計画の推進体制と実施スケジュール」でとりまとめ）。

以上の課題整理を踏まえ、次期計画（フェーズ２）への移行に向け、本計画（フェーズ 1.5 アクションプラン）における基本方針を設定しました（図３）。

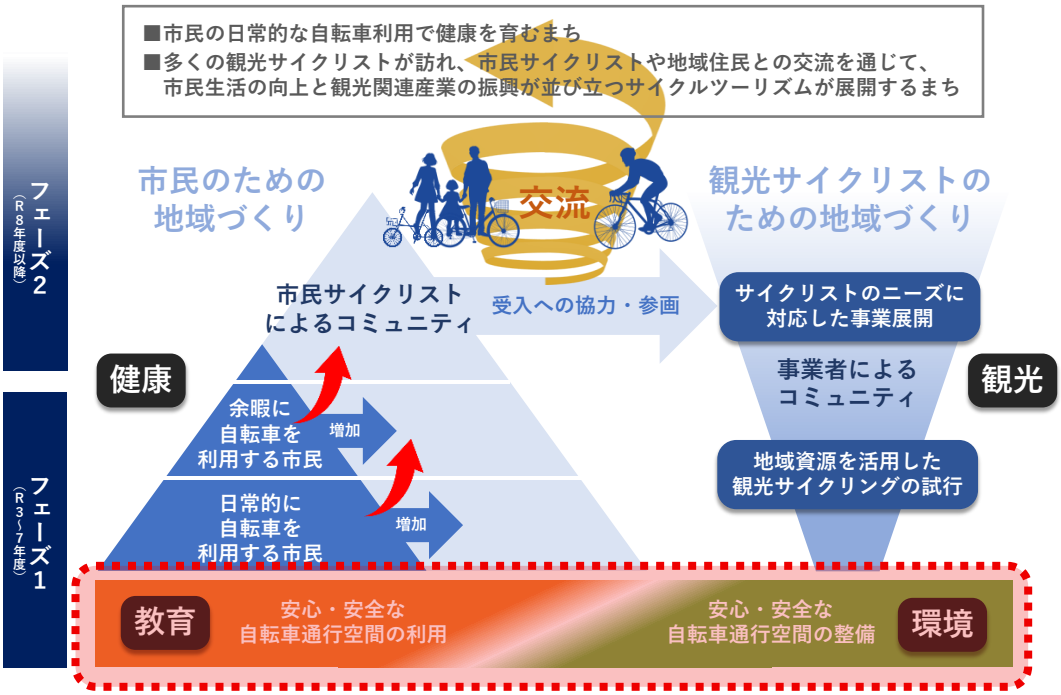


図３　香南市の自転車を活用したまちづくりの将来ビジョン（計画の基本理念）に加筆

フェーズ 1.5 では、４分野のうち「教育」と「環境」の２分野※を重点分野として位置づけ、「自転車を活用したまちづくり」の基盤となる安全・安心な自転車通行空間の適正な利用及び整備」を推進します。「健康」と「観光」の２分野については、現行計画の評価結果を踏まえ、必要最小限の内容・規模に絞って取組みを継続します。

※２分野とすることについては、専門部会及び本計画の策定委員会で承認を経ています。

第３章　フェーズ 1.5 アクションプラン

3-1. フェーズ１.５における取組一覧

本節では、第２章において整理したフェーズ１アクションプランの評価結果及び課題を踏まえ、フェーズ 1.5 において取り組むアクションプランの全体像を示しました。

フェーズ 1.5 アクションプランの全体像は次頁の表３に示すとおりで、フェーズ 1.5 の計画期間である３か年においては、限られた財源、人材及び実施体制を効率的かつ効果的に活用し、次期計画（フェーズ２）につながる取組みを着実に進めることを重視しています。このため、フェーズ１に掲げた各取組みについて、評価結果を踏まえながら、内容の見直しと整理を行いました。

具体的には、各取組みについて「継続」「再構築」「縮小」「廃止」の区分により見直しを行い、必要なものについては「新規」として再編しました。そのうえで、「自転車を活用したまちづくり」の基盤となる「教育」及び「環境」の２分野において、特に重要性の高い取組みを「重点取組」として位置づけ、フェーズ 1.5 において重点的に推進することとしました。

一方、「健康」及び「観光」の２分野における取組みについては、前記したようにフェーズ１の評価結果を踏まえ、取組み内容や規模を必要最小限に絞ったうえで継続実施し、フェーズ２に向けた検討や知見の蓄積につなげていくこととしました。

表３　フェーズ 1.5 における取組一覧（1/2）

（注：各取組・事業について、「継続」「再構築」「縮小」「廃止」の区分により見直しを行い、必要なものについては「新規」として再編している。）

分野	戦略の柱	取組の柱	具体的な取組・事業	内容　●継続 ●再構築 ●縮小 ●廃止 ●新規	目標項目	年度	基準値	フェーズ１.5の目標値 R8	R9	R10	備考
教育	自転車に安全に乗れる人づくり	交通安全意識と交通マナーの醸成	1）交通安全・自転車整備教室の開催	●保・幼・小・中学向け交通安全教室（座学＋実習） ●未就学児向け交通安全教室 ●一般向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習） →サイクリングイベントの中で座学を実施 ●親子向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習） →親子に限定せずサイクリングイベント内で座学を実施	交通安全・自転車整備教室の開催回数（回）	目標値	—	22	22	22	・例年通り交通安全教室を保幼小中に定期的に開催していくと共に、一般向けの交通安全の啓発としてイベント内で講座を実施する。
						実績値	22				
						達成度	—				
			2）ヘルメット着用率の向上	●児童・生徒へのヘルメット購入補助（自転車通学許可者が対象） ●自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助（半額補助・上限2,000円） ●ヘルメット着用率の調査を実施	自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助制度の利用件数（件） →ヘルメット着用率（%）	目標値	-	35	40	45	・例年通り補助金は継続して実施する。 ・ヘルメット着用率の悪い世代に啓発を実施する.
						実績値	31.2				
						達成度	-				
環境	サイクリストにやさしい環境づくり	安全で安心な自転車通行環境の整備	1）一般道路の整備	●自転車ネットワーク計画の充実 ●野市町市街の市道・県道における自転車通行空間の整備 ●目的地までの誘導案内の充実（路面ピクトグラム・サインの設置） ●自転車通行空間整備マニュアルの策定	一般道の整備への ブルーライン・ピクトグラム等の設置（箇所）	目標値	-	-	-	-	・ネットワーク計画を策定する。 ・補助金による財源を確保する。 ・建設課と協議し自転車を考慮した設計作りのマニュアルを作成する。
						実績値	0				
						達成度	-				
			2）自転車道の活用と維持管理	●サイクリングロード（一般県道高知安芸自転車道線）の活用と維持管理 ●物部川右岸河川管理用通路の活用と維持管理	自転車道等の点検（回）	目標値	-	2	2	2	・例年通り継続して実施する。
						実績値	2				
						達成度	-				
		自転車で気軽に立ち寄れる環境の整備	3）サイクルサポーター制度（ハードの取組）の推進	●サイクルラック導入事業の推進 ●こうちサイクルオアシスの推進 ●市内飲食店や利用施設等のサイクルサポーターへの加入促進 →すでに登録している店舗にサイクルラック設置の呼びかけの実施 ●サイクリストを迎えるお店づくりのためのチェックリストの作成及び運用 →サイクルラックの設置場所などサイクリストの目線に立ったお店作りのガイドライン を作成する。	サイクルラック設置数（台）	目標値	-	10	12	14	・例年通り継続して実施する。 ・サイクルラックの設置場所などサイクリストの目線に立ったお店作りのガイドラインを作成する。
						実績値	8				
						達成度	-				
		便利で魅力ある拠点施設の整備	4）道の駅やすの再整備と利活用	●道の駅やすへのレンタサイクル施設の新設（主な対象は観光サイクリスト）	—	目標値	-	-	-	-	・施設は整備済なのでインバウンド向けにレンタサイクルのPRを実施する。
						実績値	-	-	-	-	
						達成度	-	-	-	-	
			5）サイクリングターミナルの再整備と利活用	●自転車に特化した合宿・交通安全教室等での利活用に対応した整備 （指定管理更新までにソフト・ハードの整備要件を整理）	香南市サイクリングターミナルの自転車イベント等での利活用（件）	目標値	-	5	5	5	・例年通り継続して実施する。 ・フェーズ２に向けてサイクリングターミナル施設の可否について市長に方針を確認し、今後の方針を検討する。
						実績値	3				
						達成度	-				

※ [　　]：重点取組（重要性の高い取組み）

表３　フェーズ 1.5 における取組一覧（2/2）

（注：各取組・事業について、「継続」「再構築」「縮小」「廃止」の区分により見直しを行い、必要なものについては「新規」として再編している。）

分野	戦略の柱	取組の柱	具体的な取組・事業	内容 ●継続 ●再構築 ●縮小 ●廃止 ●新規	目標項目	年度	基準値	フェーズ１.5の目標値 R8	R9	R10	備考
健康	自転車を活用した健康づくり	自転車に親しむ機会の拡充と市民サイクリストの育成	1）健康サイクリング等の開催	●座学を取り入れた健康サイクリングの開催（毎月第１日曜日） →健康サイクリングは現状通り四半期に１回開催に縮小し以後も継続する。 ●広報誌等を通じた告知と自転車の健康効果の啓発 （壮年期男性を中心に市民の生活習慣病への関心度を高める） →広報誌等を通じた自転車の健康効果の啓発は当課に健康効果の知見も無く、健康対策課でも対応できない為実施せずにイベントの告知のみ実施する。	健康サイクリング開催（人） →開催回数(回)	目標値	－	3	3	3	
						実績値	2				
						達成度	－				
		誰もが自転車で走れる機会づくり	2）タンデム自転車の利用促進	●タンデム自転車のレンタル（香南市サイクリングターミナル） ●タンデム自転車講習会の開催（パイロット育成教室含む） →タンデム自転車講習会はパイロット認定者数は増加することを目的とせず、タンデム自転車を知ってもらい体験してもらうイベントに変更し実施する。	タンデム自転車講習会の参加人数（人） →タンデム自転車レンタル台数(台)	目標値	－	40	40	40	
						実績値	42				
						達成度	－				
観光	サイクルツーリズムの推進	観光サイクリストの受入体制づくり	1）レンタサイクル推進事業	●拠点施設でのレンタサイクル ●道の駅やす観光サイクリング事業（レンタサイクル施設の整備と併せた取組） ●レンタサイクルサービスの拡充（施設間での自転車の融通と乗り捨てできる仕組みの導入） →フェーズ1で未実施のためフェーズ1.5では実施しない ●レンタサイクル貸出後のトラブル対応（サイクルサポーターや整備士による対応を想定） →フェーズ1で未実施のためフェーズ1.5では実施しない ●周遊型サイクル観光の推進（二次交通としての自転車＋公共交通への自転車積載、送迎など） →フェーズ1で未実施のためフェーズ1.5では実施しない	市内レンタサイクルの総貸出台数（台）	目標値	－	2,000	2,000	2,000	・ターゲットである観光客にレンタサイクルを利用していただける取組を検討する。 ・フェーズ2に向けて利用者にアンケートを実施すると共に事業者とも協議を実施する。
						実績値	1,607				
						達成度	－				
			2）サイクリングガイドの育成	●サイクルガイド講習会の開催 →フェーズ1で未実施のためフェーズ1.5では実施しない ●サイクルガイド人材の登録制度の導入	サイクルガイド講習会の参加者数（人）	目標値	－	－	－	－	
						実績値	－	－	－	－	・サイクリングガイドが活躍する為にも道路環境の整備は必須の為、フェーズ1.5では実施せずフェーズ2で実施する。
						達成度	－	－	－	－	
		サイクリストに向けたプロモーション	3）サイクルイベントの開催	●高知シクロクロス ヤシィシクロクロスカップの開催 ●ツール・ド・香南トレインの催行 →他に変わるイベントを再考する。 ●三市ロングライドの実現（広域サイクリングルートの整備）	市内サイクルイベントの総参加者数(人)	目標値	－	450	450	450	
						実績値	424				・シクロクロスカップの開催支援は継続し、三市周遊ライドはDMOの事業に移管し開催支援をする。 ・ツール・ド・香南トレインは、他に変わるイベントを再考する。
						達成度	－				
			4）サイクリングのPR	●新しいサイクリング周遊マップの配布（初級者コース、中上級者コースを分けて改訂） ●SNSや動画サイト等を通じた情報発信 ●サイクルイベントでのPR	サイクルイベントでのPR回数（回）	目標値	－	4	4	4	
						実績値	3				・例年通り継続して実施する。 ・サイクルイベント実施時にアンケートを実施し効果を検証する。
						達成度	－				
		サイクリストと交流を支える仕組みづくり	5）サイクルサポーター制度（ソフトの取組）の推進	●サイクルサポーター制度の導入（登録制度の創設とサポーターの募集） ●自動車に貼付する「思いやりステッカー」の配布 →ステッカーについては個別に評価済。取組みは一定の成果を得たため終了。	サイクルサポーター制度の新規登録者数（人・団体） →現在の登録者数（人・団体）	目標値	－	50	50	50	
						実績値	48				・例年通り継続。フェーズ２に向け登録団体をどのように活用していくか検討する。
						達成度	－				
			6）災害時の避難情報の提供	●サイクルイベント会場における津波避難案内看板の設置 ●サイクリング周遊マップへの避難場所・避難ルートの表示	―	目標値	－	－	－	－	
						実績値	－	－	－	－	・例年通り継続して実施する。
						達成度	－	－	－	－	

3-2. 重点取組

本節では、フェーズ 1.5 において重点的に取り組む「教育」及び「環境」の２分野について、現行計画における戦略及び取組みの柱を踏まえ、「重点取組」の内容を次頁以降にカルテ形式で整理しました。

これらのカルテを活用し、各年度末に目標値に対する実績値を確認・分析することで、計画の進捗管理を行い、取組みの着実な推進を図ります。

【教育分野】

◆戦略の柱：自転車に安全に乗れる人づくり

◇取組の柱：交通安全意識と交通マナーの醸成

自転車の利活用において基本となる交通ルールを順守し、交通マナーを実践できる市民を増やします。





交通安全研修の様子（左：座学、右：イベント前の説明）

【環境分野】

◆戦略の柱：サイクリストにやさしい環境づくり

◇取組の柱：安全で安心な自転車通行環境の整備

自転車で気軽に立ち寄れる環境の整備

市民及び観光サイクリストが安全に自転車で走れるよう、一般道路の自転車通行空間の整備促進と自転車道の適切な維持管理に努めます。また、サイクリストの利便性向上のためサイクルラックの導入促進など環境整備を進めます。



自転車通行環境の整備（ブルーライン）



利便性向上の取組（サイクルオアシス）

【教育分野】

自転車に安全に乗れる人づくり：交通安全意識と交通マナーの醸成

取　組：交通安全・自転車整備教室の開催

継続　保・幼・こ・小・中学向け交通安全教室（座学＋実習）

廃止　~~未就学児向け交通安全教室~~

再構築　一般向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習）

廃止　~~親子向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習）~~

【実施方針】
・例年通り交通安全教室を保・幼・こ・小・中学に定期的に開催していくと共に、一般向けの交通安全の啓発としてイベント内で講座を実施する。
・ヘルメット着用率の調査結果をもとに交通安全教室を実施する。

評価指標：交通安全・自転車整備教室の開催回数（回）※

年度	基準値	令和８（2026）年度	令和９（2027）年度	令和 10（2028）年度
目標値	―	22	22	22
実績値	22			
達成度（評価）	―			

※交通安全・自転車整備教室の開催回数
本指標は、子どもから大人まで幅広い世代に対し、自転車の安全な利用方法を継続的に伝えていく体制が維持されているかを確認するために設定しています。これら教室は、正しい知識やマナーを直接伝えられる機会であり、事故防止の基礎となる取組みと考えています。

■フェーズ１における当該取組の評価

評価及び課題の整理

防災対策課による交通安全教室を、保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校において定期的に開催しており、ほぼ目標値に近い回数で実施している。また、一般向けや親子向けの啓発活動として、シニアサイクル体験会や健康サイクリングを通じた交通安全講座を実施している。

これまでの成果（交通安全・自転車整備教室の開催回数）

年度	基準値	R３	R４	R５	R６	R７
目標値	―	21	22	22	22	23
実績値	12	22	22	21	21	22
達成度（評価）		A	A	B	B	B

【教育分野】

自転車に安全に乗れる人づくり：交通安全意識と交通マナーの醸成

取　組：ヘルメット着用率の向上

継続　児童・生徒へのヘルメット購入補助（自転車通学許可者が対象）

継続　自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助（半額補助・上限 2,000 円）

新規　ヘルメット着用率の調査を実施

【実施方針】
・例年通り補助金は継続して実施する。
・ヘルメット着用率の調査を実施する。

評価指標：ヘルメット着用率（%）※

年度	基準値	令和８（2026）年度	令和９（2027）年度	令和 10（2028）年度
目標値	―	35	40	45
実績値	31.2			
達成度（評価）	―			

※ヘルメット着用率
自転車利用時の安全意識が実際の行動として定着しているかを示す重要な指標です。購入補助制度の実施状況だけでなく、「着用しているか」を直接把握することで、取組みの成果を客観的に評価できます。段階的に目標値を設定することで、意識変化と行動定着を促し、事故時の被害軽減につなげることを目的としています。

■フェーズ１における当該取組の評価

評価及び課題の整理

防災対策課により実施しており、令和５（2023）年度から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務になったことで申請数も増加している。市民への補助金の普及だけではなく、ヘルメットの着用率をどのように高めるかが課題である。

これまでの成果（自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助制度の利用件数）

年度	基準値	R３	R４	R５	R６	R７
目標値	―	―	100	100	100	100
実績値	―	―	37	127	58	53
達成度（評価）	―	―	C	A	C	C

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：安全で安心な自転車交通環境の整備

取　組：一般道路の整備

継続　自転車ネットワーク計画の充実

継続　野市町市街の市道・県道における自転車通行空間の整備

継続　目的地までの誘導案内の充実（路面ピクトグラム・サインの設置）

新規　自転車通行空間整備マニュアルの策定

【実施方針】
・ネットワーク計画を策定する。
・補助金による財源を確保する。
・建設課と協議し自転車を考慮した設計マニュアルを作成し、履行状況を確認する。

評価指標：一般道の整備へのブルーライン・ピクトグラム等の設置（箇所）※

年度	基準値	令和８（2026）年度	令和９（2027）年度	令和 10（2028）年度
目標値	—	–	–	–
実績値	0			
達成度（評価）	—			

※一般道の整備へのブルーライン・ピクトグラム等の設置
フェーズ 1.5 では自転車通行空間の整備を推進するための基盤づくりとして「自転車ネットワーク計画の策定」「自転車通行空間整備マニュアルの策定」「補助金の申請」を目標に取組み、これら目標達成後に自転車通行空間の整備を推進します。そのため各取組みの実施後に改めて KPI 目標値を検討のうえ設定します。

■フェーズ１における当該取組の評価

評価及び課題の整理

一般道にブルーラインなどの設置は 1 件のみ実施されており、ものベスト周遊ライド開催にあたり、コース上のくぼみなどの不具合箇所を補修した。ブルーラインの設置については関係課との連携及が取れず設置に至っていない為、関係課と協議し自転車ネットワーク計画を策定し一般道の整備を進める必要がある。

これまでの成果（一般道の整備：ブルーライン・ピクトグラム等の設置）

年度	基準値	R３	R４	R５	R６	R７
目標値	—	3	3	3	3	3
実績値	—	1	0	0	0	0
達成度（評価）	—	C	C	C	C	C

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：自転車で気軽に立ち寄れる環境の整備

取　組：サイクルサポーター制度（ハードの取組）の推進

継続　サイクルラック導入事業の推進

継続　こうちサイクルオアシスの推進

再構築　市内飲食店や利用施設等のサイクルサポーターへの加入促進

再構築　サイクリストを迎えるお店づくりのためのチェックリストの作成及び運用

【実施方針】
・例年通り継続して実施する。
・サイクルラックの設置場所に配慮するなどサイクリストの目線に立ったお店づくりのガイドラインを作成する。

評価指標：サイクルラック設置数（台）※

年度	基準値	令和８（2026）年度	令和９（2027）年度	令和 10（2028）年度
目標値	―	10	12	14
実績値	8			
達成度（評価）	―			

※サイクルラックの設置数
自転車で気軽にかつ安心して立ち寄れる場所が市内にどの程度広がっているかを示す指標です。設置場所の増加は、自転車利用の利便性向上だけでなく、店舗や施設への立ち寄り促進にもつながります。段階的な目標設定により、事業者との連携を進めながら、サイクリストを受け入れる環境整備の進捗を確認します。なおサイクリストのニーズに応えられるよう、サイクルラック等の設置場所やその情報発信については、ガイドラインやチェックリストを作成する予定です。

■フェーズ１における当該取組の評価

評価及び課題の整理

現在サイクルサポーター(ハード)登録団体にサイクルラックを貸出し市内 8 カ所に設置しているが、新規登録者数は少ないのが課題であり、新たな分野の市内事業所に呼びかけが必要である。また、登録団体にサイクルラック以外のサイクリストを迎えるお店づくりの提案が実施できていないのが課題である。

これまでの成果（サイクルラック新規設置数）

年度	基準値	R３	R４	R５	R６	R７
目標値	―	15	15	15	15	15
実績値	―	―	2	4	2	0
達成度（評価）	―	―	C	C	C	C

第４章　フェーズ 1.5 の推進体制と実施スケジュール

本章では、フェーズ 1.5 アクションプランを着実に推進するための体制及び実施スケジュールについて整理しました。

4-1. 推進体制

第 2 章 2-2 節に示したとおり、フェーズ 1 において、現行計画の事務局である本市商工観光課と関係課との連携や人材配置に課題が見受けられました。これを踏まえ、本計画の推進にあたっては、現行計画の推進体制（図４）を基本としつつ、限られた人材及び財源のなかで、実効性の高い運用を行うことを目指すこととしました。

フェーズ 1.5 においては、計画期間である３か年を通じて、商工観光課を中心としつつ、関係課が各所管分野における実施主体となり取組みを進めます。商工観光課は、関係機関と連携しながら、各取組みの進捗管理及び全体調整を担うとともに、必要な支援を行います。

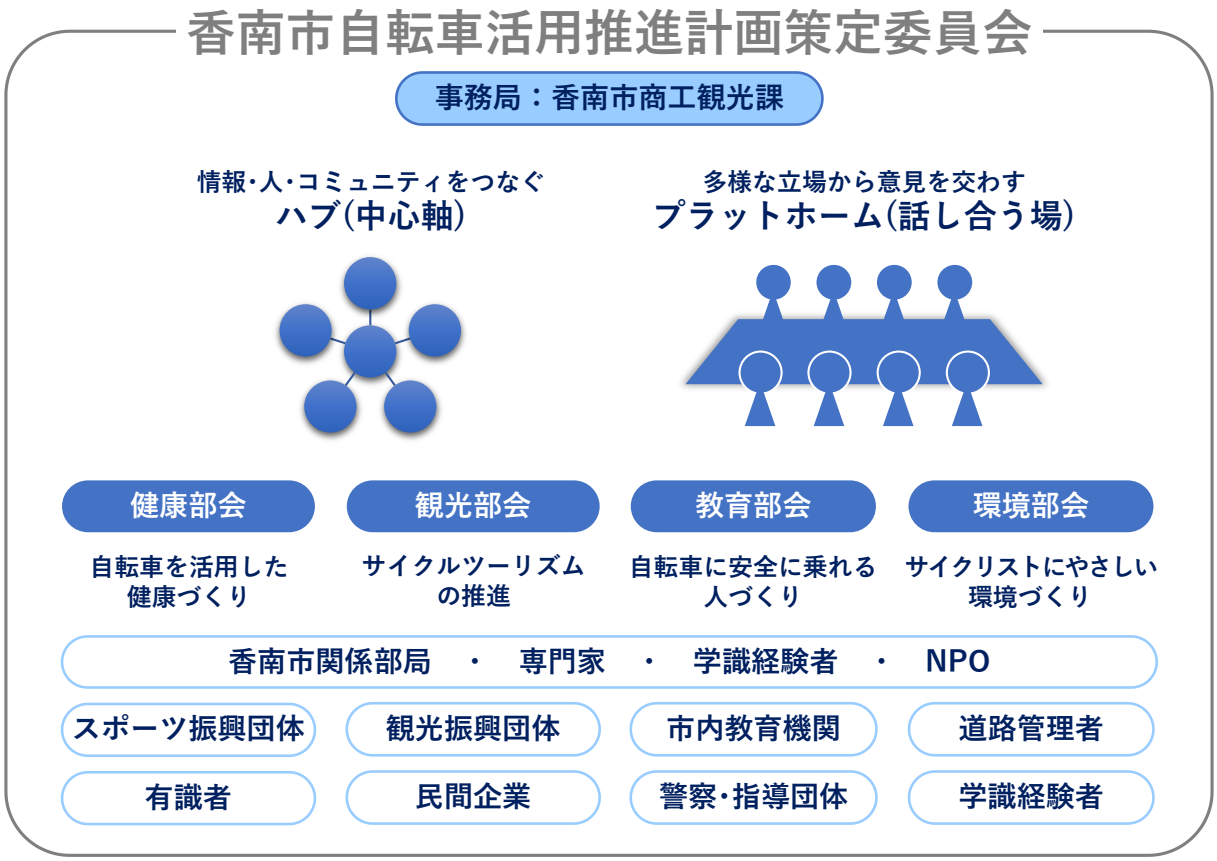


図４　本計画の推進体制

4-2. 実施スケジュール

フェーズ 1.5 アクションプランの実施にあたっては、年度ごとに設定した目標値に基づき、各取組みを実施することとしました（図５）。



図５　フェーズ 1.5 および 2.0 に繋がる実施スケジュール

各年度末には、第３章に示した重点取組のカルテを活用し、各取組みの実施状況及び目標値に対する実績値を確認します。その結果を踏まえ、取組みの状況や課題を整理するとともに、必要に応じて次年度の取組み内容や進め方について調整を行います。

また、フェーズ 1.5 の期間中は、現行計画において素案としていた「自転車ネットワーク計画」をとりまとめ、これを踏まえた次期計画（フェーズ２）を令和 10（2028）年度に策定します。あわせて、香南市産業振興計画については、令和９（2027）年度の見直し時期に、本計画における目標及びその達成状況を踏まえた検討を行います。









巻末資料

巻末－１　フェーズ１における取組とその成果（個票）

■フェーズ１の取組

【健康分野】

自転車を活用した健康づくり：自転車に親しむ機会の拡充と市民サイクリストの育成

取　組：健康サイクリング等の開催

規模縮小　座学を取り入れた健康サイクリングの開催（毎月第１日曜日）
※令和６年度より年間３回の実施に変更

未実施　広報誌等を通じた告知と自転車の健康効果の啓発
（壮年期男性を中心に市民の生活習慣病への関心度を高める）

【概要】
・健康サイクリング開催時期（月１回）
令和３年度：毎月第１日曜日を健康サイクルの日と定め実施
→ 令和６年度より（年３回）６月、９月、12 月の第１日曜日を目処に実施

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	—	39	—	
R３	120	37	C	新型コロナウイルス感染症の影響により各イベントが立て続けに中止。10月より少しずつ開催されたが、目標値には届かなかった。 ※健康サイクリング：10/10(8人)、11/７(9人)、12/5（5人）、1/9（8人）、3/13（7人）
R４	140	79	C	4/17（7人）、5/1（5人）、6/5（14人）、7/3（中止）、8/7（6名）、9/4（中止）、10/2（12人）、11/6（8人）、12/11（3人）、1/8（8人）、2/5（8人）、3/12（8人）
R５	160	38	C	4/16（10人）、5/7（中止）、6/5（5人）、7/2（中止）、8/6（中止）、9/3（7人）、10/8（2人）、11/5（中止）、12/10（4人）、1/14（5人）、2/4（中止）、3/10（5人）
R６	45	13	C	6/9（雨天中止）、9/8（4人）、12/1（9人）
R７	60	27	C	6/7(12 名)、10/13(参加申込み者０名の為　中止)、1/24(15 人)

■評価及び課題の整理

継続して参加してくれる方が一定数いたが、リサーチ不足によりターゲットの壮年期の方のニーズに合ったイベントが開催できず、イベントに参加される壮年期の方の人数が少ない事が課題である。

■フェーズ１の取組

【健康分野】

自転車を活用した健康づくり：誰もが自転車で走れる機会づくり

取　組：タンデム自転車の利用促進

実施　タンデム自転車のレンタル（香南市サイクリングターミナル）

実施　タンデム自転車講習会の開催（パイロット育成教室含む）

【概要】
・タンデム自転車のレンタル（香南市サイクリングターミナル）
・タンデム自転車講習会の開催（パイロット育成教室含む）

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	21	―	
Ｒ３	20	―	―	・タンデム自転車講習会は、開催に向け関係機関と協議を重ね準備を進めてきたが、まん延防止法の発令があり中止とした。 ・11/23 に開催された香南ふれあい祭りで、タンデム自転車体験試乗会を実施し認知度の向上と利用推進を行った。
Ｒ４	20	6	C	・タンデム自転車講習会 1/29 開催 ：（6 人） ・R4.9 月には、愛媛県の NPO 法人 NON ちゃん倶楽部が来高し、YASU 海の駅クラブと物部川 DMO 協議会が共同でイベントを開催した。
Ｒ５	20	8	C	・タンデム自転車講習会では、「NON ちゃん倶楽部」・「南国警察署交通課」を講師として招き、タンデム自転車の乗り方・安全性・楽しさ等を、参加者の方々に伝えていただいた。・タンデム自転車講習会：11/11　（8 人）
Ｒ６	20	中止	―	タンデム自転車講習会では、「NON ちゃん倶楽部」・「南国警察署交通課」を講師として招き、タンデム自転車の 乗り方・安全性・楽しさ等を、参加者の方々に伝えていただく予定であったが雨天のため中止となった。
Ｒ７	20	中止	―	今年度は講習会ではなく障害のある方でも楽しめるアクティビティを体験するイベントを開催するため「NON ちゃん倶楽部」・「海の駅クラブ YASU」に相談したが、障害のある方が参加した際のサポート体制をとれないため断念。その代わり障害のある方向け自転車講習会を 2/17 に開催し８名の方が参加した。

■評価及び課題の整理

タンデム自転車講習会を実施しパイロット認定者数は増加することができたが、パイロット認定者と障がい者の方とをつなぐ体制が取れていない為、障がい者の方の健康づくりにつながっていない事が課題である。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：観光サイクリストの受入体制づくり

取　組：レンタサイクル推進事業

実施　拠点施設でのレンタサイクル

実施　道の駅やす観光サイクリング事業（レンタサイクル施設の整備と併せた取組）

未実施　~~レンタサイクルサービスの拡充（施設間での自転車の融通と乗り捨てできる仕組みの導入）~~

実施　レンタサイクル貸出後のトラブル対応（サイクルサポーターや整備士による対応を想定）

未実施　~~周遊型サイクル観光の推進（二次交通としての自転車＋公共交通への自転車積載、送迎等）~~

【概要】
・拠点施設でのレンタサイクル
　サイクリングターミナル、道の駅やす、香南市観光協会/のいち駅、創造広場アクトランド、神明自転車店
・施設間で自転車の融通と乗り捨てできる仕組みの導入、二次交通として自転車+公共交通への自転車の積載仕組みの導入を目指す。

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	—	2,361	—	
R３	2,600	2,437	B	コロナ禍でも楽しめるアクティビティとしての認知が進んでいること等から利用者数は増加傾向にある。また、4/28 より「香南市で遊ぼう割」が開始され、5 月はサイクリングターミナルの利用者が昨年（105 台）の 4 倍（422 台）になっている。
R４	3,100	2,982	B	R4.4.29～R5.1.31 より「香南いこいこキャンペーン」、R4.5.1～R4.7.31 から「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を実施したことで、レンタサイクル施設の利用者数の増加に繋がった。
R５	3,220	1,917	C	「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を 9 月 1 日から 1 月 31 日の期間で実施し、自転車のまち香南市応援サポーターの登録 32 店舗において 764 人がクーポンを利用し、事業者の自転車利用者の受け入れ態勢の醸成につながった。
R６	3,340	1,672	C	「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を 7 月 1 日から 12 月 31 日の期間で実施し、自転車のまち香南市応援サポーターの登録 39 店舗において 565 人がクーポンを利用した。令和５年度は期間中 1㎜ 以上の雨が降った日が 33 日に対し令和６年度は 46 日と天候に恵まれなかった事が利用者が伸びなかった 1 つの要因。
R７	3,460	1,607	C	猛暑の影響もあり利用者数は減少傾向にある。今年度は「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を実施しなかったが昨年度と比べ大きく利用者数が減少することはなかった為レンタサイクルの周知は現段階で十分できていると思われる。

■評価及び課題の整理

市のサイクルイベントでの利用、「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」の実施により市民への周知は十分にできている。しかし、各事業所での利用も地元住民の利用がメインとなっており、ターゲットの観光客の利用には繋がっておらず観光客のニーズのリサーチ不足及びそれを満たす体制が取れていないことが課題である。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：観光サイクリストの受入体制づくり

取　組：サイクリングガイドの育成

未実施　~~サイクルガイド講習会の開催~~

未実施　~~サイクルガイド人材の登録制度の導入~~

【概要】
・サイクルガイド講習会の開催
・サイクルガイド人材の登録制度の導入

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
R３	―	―	―	令和４年度からサイクルガイド講習会を実施することを計画。毎年５名程度を予定している。
R４	5	0	C	令和４年度はサイクルガイド制度の制度設計を予定していたが、現状具体的な方向性等は固まっていない。
R５	5	0	C	サイクリングガイド制度の制度設計について、香南市独自での制度設計等の造成は比較的困難な状況も踏まえ、具体的な整理及び取組等ができていない。
R６	5	0	C	サイクリングガイド制度の制度設計について、香南市独自での制度設計等の造成は比較的困難な状況も踏まえ、具体的な整理及び取組等ができていない。
R７	5	0	C	サイクリングガイド制度の制度設計について、香南市独自での制度設計等の造成は比較的困難な状況も踏まえ、具体的な整理及び取組等ができていない。

■評価及び課題の整理

サイクリングガイドの講習会を実施できる人材がいない事、サイクリングガイドの位置づけができておらず、産業振興との連携体制が取れていない為、人材育成の方向性が不明瞭である点が課題である。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：サイクリストに向けたプロモーション

取　組：サイクルイベントの開催

実施　●高知シクロクロス ヤシィシクロクロスカップの開催

規模縮小　●ツール・ド・香南トレインの催行
※令和３年度のみ実施

実施　●三市ロングライドの実現（広域サイクリングルートの整備）

【概要】
・自転車を通じた観光客誘致と、市の PR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。
高知シクロクロスヤシィシクロクロスカップの開催
ツール・ド・香南トレインの催行
三市ロングライドの実現（広域サイクリングルートの整備）

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	580	106	C	
R３	780	135	C	・健康サイクリング：37 名　・ツール・ド・トレイン：11/13（25 人）・ヤシィシクロクロスカップ：1/30（73 人）・タンデム自転車講習会：中止・キックバイクイベント：3/21（104 人）
R４	850	204	C	・健康サイクリング：79 名・ものべがわフェスタ　自転車体験イベント：11/13（雨天中止）・ふれあい祭りタンデム自転車サイクリング試走会：11/23（雨天中止）・タンデム自転車講習会：1/29（6 人）・ヤ・シィシクロクロスカップ：2/5（119 人）・キックバイクイベント　：3/21（雨天延期）
R５	920	300	C	・健康サイクリング：38 名・「キックバイクで遊ぼう」：10/21（96 人）・タンデム自転車講習会：11/11（8 人）・ヤ・シィシクロクロスカップ：2/10・2/11（158 人）　・「キックバイクで遊ぼう」：3/24（雨天中止）
R６	450	479	A	・健康サイクリング：13 名・シニアサイクル体験会：10/14（8 人）・親子ライド：2/1(10 人）　・タンデム自転車講習会：11/11（雨天中止）・高規格道路開通記念イベント：2/23（124 人）・今村選手トークショー　：2/23(29 人）・ものべすと周遊ライド：3/23（29 人）・キックバイクで遊ぼう：10/19（59 人）3/23(82 人）・ヤ・シィシクロクロスカップ：1/26(125 人)
R７	750	424	C	・健康サイクリング：27 名・障害のある方向け自転車講習会：2/17（8 人）・ものべすと周遊ライド：11/8（135 人）・キックバイクで遊ぼう：3/22（81 人）・ヤ・シィシクロクロスカップ：2/1(173 人)

■評価及び課題の整理

市で定期的にイベントを実施しており開催回数については十分実施されている。また、ものべすと周遊ライドも実施し県外観光客の誘致にも繋がった。しかし、小規模なイベントが多く、参加人数を増加する為の大規模なイベントを実施するには財源及び人員が不足していることが課題である。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：サイクリストに向けたプロモーション

取　組：サイクリングの PR

規模縮小　新しいサイクリング周遊マップの配布（初級者コース、中上級者コースを分けて改訂）
※初心者コースのみ配布

実施　SNS や動画サイト等を通じた情報発信

実施　サイクルイベントでの PR

【概要】
・新しいサイクリング周遊マップの配布（初心者コース、中上級者コースを分けて改訂）
・SNS や動画サイト等を通じた情報発信
・サイクルイベントでの PR

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	0	―	
Ｒ３	4	―	―	R3.7 と R4.3 にサイクルモード大阪が開催されたが、まん延防止対象地域だったため、市としての参加は見送った。10/8～12/31 まで『観光列車』が運行した際に、香我美駅から夜須駅間を自転車で併走しながらお手振り（お出迎え・お見送り）を実施。
Ｒ４	4	3	B	・4/1～6/24、10/7～12/23 までの期間で観光列車を自転車で並走しながらお手振りを実施した。・5/29 放送の「さんしんGO！」の取材で「自転車のまち香南市」のＰＲを行った。・8/20～8/21 シマノ鈴鹿ロード（新型コロナウイルス感染症の影響で参加を見送った）・3/3～3/4　サイクルモード大阪　参加
Ｒ５	4	7	A	・4 月～6 月、10 月～12 月までの期間で観光列車を自転車で並走しながらお手振りを実施。・R5 年 5 月号「こじゃんと」に巻頭特集として掲載。・セトウチヴェロ協議会 HP へ「ツール・ド・香南」記載のサイクリングコース計 6 コースを掲載。・12/4 に元プロ野球選手の杉谷拳士様が、市長とサイクリングを実施。 ・2/7 県主催「アドベンチャーツーリズムガイド研修」のフィールドワークにて市内サイクリングを実施・2/26 開催「スポーツツーリズム連続講座」にて「自転車のまち香南市」の取り組み内容等を発表・3/2～3/3 サイクルモード大阪参加
Ｒ６	4	5	A	・4 月～6 月、10 月～12 月までの期間で観光列車自転車で並走しながらお手振りを実施。・セトウチヴェロ協議会 HP へ「ツール・ド・香南」記載のサイクリングコース計 6 コースを掲載・新しいサイクリング周遊マップの作成、配布(初心者コース)・2/23　高規格道路開通記念イベントで、サイクリングのタイムトライアルと時間計測のないゆっくりサイクリング、今村選手のトークショーを実施。・3/1～3/2 サイクルモード大阪参加
Ｒ７	4	3	B	・4 月～6 月、10 月～12 月までの期間で観光列車自転車で並走しながらお手振りを実施。・セトウチヴェロ協議会 HP へ「ツール・ド・香南」記載のサイクリングコース計 6 コースを掲載・3/6～3/7 サイクルモード大阪参加

■評価及び課題の整理

観光列車自転車で並走しながらお手振りの実施、サイクリング周遊マップやサイクルモード大阪への参加など観光客へのサイクリングの PR は県内外問わず十分達成している。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：サイクリストと交流を支える仕組みづくり

取　組：サイクルサポーター制度（ソフトの取組）の推進

実施　サイクルサポーター制度の導入（登録制度の創設とサポーターの募集）

規模縮小　自動車に貼付する「思いやりステッカー」の配布
※ステッカーについては個別に評価済。取組みは一定の成果を得たため終了。

【概要】
自転車利用促進に参画し、実際に活動してもらえる事業所・団体を対象とするサイクルサポーター（日常交通やサイクリストにやさしいサービス等を行う事業者や団体）制度を構築し、市内等で行われるイベント等にスタッフや出店者として参加してもらうことで、横のつながりを強化し、香南市の自転車事業促進を図る。

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	—	—	—	
R３	—	—	—	香南市自転車活用推進計画策定委員会内で「サイクルサポーター制度」について検討を行った。令和４年度に制度設計を行いサイクルサポーターの募集・運用し、ハード・ソフト・マインド面から官民が連携して自転車の利用環境の向上を図り、受入れ態勢の充実により当市へのサイクリストの誘致につなげていく。
R４	20	10	C	R4.9 月 要綱作成（名称：自転車のまち香南市応援サポーター） R4.10 月　サイクルサポーター制度の募集開始 R4 実績：サポーター　10 件（ソフト 2 件、ハード 7 件、マインド 6 件）※重複有
R５	10	28	A	香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンへの参加要件として、「サイクルサポーター制度の認定を受けること」を加えたこともあり、認定団体が大幅に増加した。また、認定団体の取り組み内容等をまとめた HP を作成。 R5 実績：28 件（ハード 9 件・ソフト 4 件・マインド 25 件※重複有）
R６	5	13	A	令和５年度に引き続き香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンへの参加要件として、「サイクルサポーター制度の認定を受けること」としたことで認定団体を増加することが出来た。また、認定団体の取り組み内容等をまとめた HP を作成した。 R6 実績：13 件（ハード 2 件・ソフト 0 件・マインド 13 件※重複有）
R７	5	0	C	香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを実施しなかった事で申込みがなかった事と広報不足により認定団体がいなかった。

■評価及び課題の整理

香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンへの参加要件として、「サイクルサポーター制度の認定を受けること」としたことで、登録団体は 51 団体となり十分に目標を達成している。今後は登録団体の活用方法を検討する。

■フェーズ１の取組

【観光分野】

サイクルツーリズムの推進：サイクリストと交流を支える仕組みづくり

取　組：災害時の避難情報の提供

未実施　~~サイクルイベント会場における津波避難案内看板の設置~~

実施　サイクリング周遊マップへの避難場所・避難ルートの表示

【概要】
―

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
Ｒ３	―	―	―	香南市自転車活用推進計画策定委員会内で「サイクルサポーター制度」について検討を行った。令和４年度に制度設計を行いサイクルサポーターの募集・運用し、ハード・ソフト・マインド面から官民が連携して自転車の利用環境の向上を図り、受入れ態勢の充実により当市へのサイクリストの誘致につなげていく。
Ｒ４	―	―	―	・R4.3 月改訂のツール・ド・香南に「津波避難タワー」を掲載。 ・R4.11 月開催の健康サイクリングで避難訓練を行った。 ・R5.3 月開催の健康サイクリングでは津波避難タワー巡りを実施。
Ｒ５	―	―	―	・R6.3 月開催の健康サイクリングでは津波避難タワー巡りを実施 3/10 健康サイクリング：5 人
Ｒ６	―	―	―	・新しいサイクリング周遊マップ(初心者コース)を作成する際に避難場所の更新を実施した。
Ｒ７	―	―	―	・ものべすと周遊ライドでもスタッフに避難経路を周知し災害時でもサイクリストを安全に誘導できるようにした。

■評価及び課題の整理

ツール・ド・香南に「津波避難タワー」の掲載及び令和４年、５年度の健康サイクリングでは津波避難タワー巡りを開催した。また、ものべすと周遊ライドでもスタッフに避難経路を周知し災害時でもサイクリストを安全に誘導できるようにした。

■フェーズ１の取組

【教育分野】

自転車に安全に乗れる人づくり：交通安全意識と交通マナーの醸成

取　組：交通安全・自転車整備教室の開催

実施　保・幼・小・中学向け交通安全教室（座学＋実習）

未実施　~~未就学児向け交通安全教室~~

実施　一般向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習）

未実施　~~親子向け交通安全・自転車整備教室（座学＋実習）~~

【概要】
・保・幼・こ・小・中学向け交通安全教室（座学+実習）・未就学児向け交通安全教室
・一般向け交通安全・自転車整備教室（座学+実習）・親子向け交通安全・自転車整備教室（座学+実習）一般住民や市内全学校での交通安全教室を行い、自転車への理解を促し、次代を担う若者等への啓発を行う。 一般向けは親子向けも企画してサイクリングターミナルを利用した座学も行う。

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	12		
R３	21	22	A	香南市自転車活用推進計画策定委員会内で「サイクルサポーター制度」について検討を行った。令和４年度に制度設計を行いサイクルサポーターの募集・運用し、ハード・ソフト・マインド面から官民が連携して自転車の利用環境の向上を図り、受入態勢の充実により当市へのサイクリストの誘致につなげていく。
R４	22	22	A	防災対策課による交通安全教室を保・幼・こ・小・中 22 箇所で実施。
R５	22	21	B	防災対策課による交通安全教室を保・幼・こ・小・中 21 箇所で実施。
R６	22	21	B	防災対策課による交通安全教室を保・幼・こ・小・中 21 箇所で実施。
R７	23	22	B	防災対策課による交通安全教室を保・幼・こ・小・中 21 箇所で実施。 商工観光課で障害のある方向け自転車講習会を実施した。

■評価及び課題の整理

防災対策課による交通安全教室を、保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校において定期的に開催しており、ほぼ目標値に近い回数で実施している。また、一般向けや親子向けの啓発活動として、シニアサイクル体験会や健康サイクリングを通じた交通安全講座を実施している。

■フェーズ１の取組

【教育分野】

自転車に安全に乗れる人づくり：交通安全意識と交通マナーの醸成

取　組：ヘルメット着用率の向上

実施　児童・生徒へのヘルメット購入補助（自転車通学許可者が対象）

実施　自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助（半額補助・上限 2,000 円）

【概要】
・児童・生徒へのヘルメット購入補助金（自転車通学許可者が対象）
・自転車通学許可者以外へのヘルメット購入補助（半額補助・上限 2,000 円）

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
Ｒ３	―	―	―	香南市教育委員会が行っているヘルメット補助金の現状と、今後の補助方法等を、学校教育課、こども課、防災対策課、商工観光課で話し合った。 令和４年度からは防災対策課の新規事業として、現在の補助対象である「自転車通学許可者」以外への助成を行う。
Ｒ４	100	37	C	R4.6 月　補助金ガイドブックへの掲載。 R4.5 月　市ＨＰ掲載を行った（防災対策課） R5.3 月末現在　補助金実績：37 件
Ｒ５	100	127	A	R5.4.1 から道路交通法が改正され、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されたこともあり、令和４年度と比べ大幅な増となった。市内店舗へのチラシ配布、自主防災組織の連絡会にて周知、交通安全でのチラシ配布、市 HP への掲載等行い、多くの方に当補助金を利用してもらうよう努めた。R5 実績：127 件
Ｒ６	100	58	C	令和６年度では令和５年度と比べると減少しているが、補助金新設時の令和４年度に比べると増加している。周知としては、市内店舗へのチラシ配布、自主防災組織の連絡会にて周知、交通安全でのチラシ配布、市 HP への掲載等行い、多くの方に当補助金を利用してもらうよう努めた。R6 実績：58 件
Ｒ７	100	53	C	商工観光課が開催した健康サイクリングや障害のある方向け自転車講習会においてチラシの配布を実施した。

■評価及び課題の整理

防災対策課により実施しており、令和５年度年から自転車運転時のヘルメット着用が努力義務になったことで申請数も増加している。市民への補助金の普及だけではなく、ヘルメットの着用率をどのように高めるかが課題である。

■フェーズ１の取組

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：安全で安心な自転車通行環境の整備

取　組：一般道路の整備

未実施　~~自転車ネットワーク計画の充実~~

未実施　~~野市町市街の市道・県道における自転車通行空間の整備~~

規模縮小　目的地までの誘導案内の充実（路面ピクトグラム・サインの設置）
※令和３年度のみ実施

【概要】
・自転車ネットワーク計画の充実
・野市町市街の市道・県道における自転車通行空間の整備
・目的地までの誘導案内の充実（路面ピクトグラム・サインの設置）、ブルーラインの整備を進め、サイクリストにやさしいまちづくりを推進すると共に市民の意識を向上させる。）

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
~~基準値~~	―	―	―	
Ｒ３	3	1	C	香我美町岸本地区の堤防から香宗川水門への誘導として「ぐるっと高知」の誘導ブルーライン１カ所を高知県が塗付している。
Ｒ４	3	0	C	一般道の整備については、関係機関と次年度予算案作成時期までに、協議し要望を行っていく。R4.7 新宮深渕線にブルーライン等の設置を建設課に要望。 高知県スポーツ課と協議し、高知県サイクリングロードをヤ・シィ内を通るルートに変更した。
Ｒ５	3	0	C	一般道路の整備について、ブルーライン・ピクトグラムを設置すべき箇所等の具体的な整理ができておらず設置件数の実績には結びついていない
Ｒ６	3	0	C	一般道路の整備について、ブルーライン・ピクトグラムを設置すべき箇所等の具体的な整理ができておらず設置件数の実績には結びついていない
Ｒ７	3	0	C	一般道路の整備について、ブルーライン・ピクトグラムを設置すべき箇所等の具体的な整理ができておらず設置件数の実績には結びついていない

■評価及び課題の整理

一般道にブルーラインなどの設置は１件のみ実施されており、ものベスト周遊ライド開催にあたり、コース上のくぼみなどの不具合箇所を補修した。ブルーラインの設置については関係課との連携及が取れず設置に至っていない為、関係課と協議し自転車ネットワーク計画を策定し一般道の整備を進める必要がある。

■フェーズ１の取組

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：安全で安心な自転車通行環境の整備

取　組：自転車道の活用と維持管理

実施　サイクリングロード（一般県道高知安芸自転車道線）の活用と維持管理

実施　物部川右岸河川管理用通路の活用と維持管理

【概要】
―

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	2	―	
Ｒ３	2	―	―	R3/5/22 に 3 市合同で試走を行う予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 また、R3 年度内に３市と物部川 DMO 協議会で試走を計画したが、調整がうまく行かなかったことから R4 年度に実施することとした。
Ｒ４	2	1	C	香南市サイクリングコースの点検を実施した。 7 月：花鳥風月コース試走　9 月：海の風コース、歴史の風コース試走 1 月：文化の風コース試走　10 月：3 市物部川サイクリングコースの試走会開催　※森林の風コースは日程調整ができず試走できていない。
Ｒ５	2	2	A	11 月上下水道課による配管工事の際、夜須町手結山から夜須町手結区間のサイクリングロードの整備を実施した。 健康サイクリング・タンデム自転車講習会・県主催 AT ガイド育成研修等のサイクリングイベントの際サイクリングロードを活用し、イベント前に試走を行い、サイクリングロードの点検を実施した。
Ｒ６	2	1	C	健康サイクリングのサイクリングイベントの際にサイクリングロードを活用し、イベント前に試走を行い、サイクリングロードの点検を実施した。
Ｒ７	2	2	A	第 1 回健康サイクリング、ものべすと周遊ライドでは、物部川右岸河川管理用通路を活用すると共に、イベント前には試走を行い点検を実施した。

■評価及び課題の整理

市主催のサイクリングイベントでサイクリングロード及び物部川右岸を活用し、事前に路面の点検を実施する事で維持管理が出来ている。

■フェーズ１の取組

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：自転車で気軽に立ち寄れる環境の整備

取　組：サイクルサポーター制度（ハードの取組）の推進

実施　サイクルラック導入事業の推進

実施　こうちサイクルオアシスの推進

実施　市内飲食店や利用施設等のサイクルサポーターへの加入促進

未実施　~~サイクリストを迎えるお店づくりのためのチェックリストの作成及び運用~~

【概要】
・サイクルラック導入事業の推進　・高知サイクルオアシスの推進
・市内飲食店や利用施設等のサイクルサポーターへの加入促進
・サイクリストを迎えるお店づくりのためのチェックリストの作成及び運用

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
R３	15	―	―	自転車活用推進計画内で、サイクルサポーター制度を作り、サイクルラックを年間 15 台ずつ設置できるよう目標設定を行ったが、制度設計ができていないため、令和 3 年度の目標値 15 件は「-」としている。令和 4 年度に要綱を作成し、ハード部分の整備をしていく。
R４	15	2	C	R4.9 月 要綱作成（名称：自転車のまち香南市応援サポーター） R4.10 月 サイクルサポーター制度の募集開始 R4 実績：2 台貸与
R５	15	4	C	「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」の事業者参加要件として、サイクルサポーターの認定を加え、市内事業者にサイクルラックを置いてもらう機会の造成に努めた R5 実績：4 台貸与
R６	15	2	C	令和５年度同様、「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」の事業者参加要件として、サイクルサポーターの認定を加え 市内事業者にサイクルラックを置いてもらう機会の造成に努めた R6 実績：2 台貸与
R７	15	0	C	香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを実施しなかった事で申込みがなかった事と広報不足により認定団体がいなかった。

■評価及び課題の整理

現在サイクルサポーター(ハード)登録団体にサイクルラックを貸出し市内 8 カ所に設置しているが、新規登録者数は少ないのが課題であり、新たな分野の市内事業所に呼びかけが必要である。また、登録団体にサイクルラック以外のサイクリストを迎えるお店づくりの提案が実施できていないのが課題である。

■フェーズ１の取組

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：便利で魅力ある拠点施設の整備

取　組：道の駅やすの再整備と利活用

実施　道の駅やすへのレンタサイクル施設の新設（主な対象は観光サイクリスト）

【概要】
―

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
Ｒ３	―	―	―	高知県の観光振興推進総合支援事業費補助金を活用して、ヤ・シィ広場レンタサイクル施設を新設した。
Ｒ４	―	―	―	高知県の観光振興推進総合支援事業費補助金を活用して、ヤ・シィ広場レンタサイクル施設を新設した。 ・4/1　オープン・4/29　香南いこいこキャンペーン　5/1　香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン　開始 ・5/29　「さんしんＧＯ！」　で施設の紹介
Ｒ５	―	―	―	・9/1～1/31　「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」　実施　・4 月～6 月、10 月～12 月までの期間で観光列車が運行（※夜須駅にて停車） ・R5 年 5 月号「こじゃんと」に施設情報を掲載　・10/21　「キックバイクで遊ぼう」開催 ・12/4　杉谷拳士様による香南市サイクリング PR 動画（スポる！高知）にて施設紹介　・2/10～2/11　ヤシィシクロクロスカップ開催
Ｒ６	―	―	―	・7/1～12/31　「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」　実施・4 月～6 月、10 月～12 月までの期間で観光列車が運行（※夜須駅にて停車） ・1/26　ヤシィシクロクロスカップ開催　・3/23　「キックバイクで遊ぼう」開催
Ｒ７	―	―	―	・2/1 ヤ・シィシクロクロスカップ開催　・3/22「キックバイクで遊ぼう」開催

■評価及び課題の整理

レンタサイクルを開始すると共に、キックバイクイベントやヤシィシクロクロスカップを開催するなど当施設を活用している。

■フェーズ１の取組

【環境分野】

サイクリストにやさしい環境づくり：便利で魅力ある拠点施設の整備

取　組：サイクリングターミナルの再整備と利活用

実施　自転車に特化した合宿・交通安全教室等での利活用に対応した整備
（指定管理更新までにソフト・ハードの整備要件を整理）

【概要】
―

■目標と実績

年度	目標値	実績値	達成度（評価）	内容
基準値	―	―	―	
Ｒ３	12	5	C	市民や観光客に利用してもらう自転車の更新を行った。 健康サイクリング等市民向けのイベントはサイクリングターミナルで実施している。
Ｒ４	14	11	B	健康サイクリング等市民向けのイベントはサイクリングターミナルで実施している。 タンデム自転車講習会開催
Ｒ５	16	16	A	・香南市健康サイクリング開催（計７回）・R5 年５月号「こじゃんと」に施設情報を掲載　・5/5 こどもの日レンタサイクル無料貸出を実施（※子どもは無料） ・11/11　タンデム自転車講習会　（8 人）・12/4　杉谷拳士様による香南市サイクリング PR 動画（スポる！高知）にて施設紹介 ・9/1～1/31 「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」実施・2/7 県主催「アドベンチャーツーリズムガイド研修」の実施 ・「どっぷり高知旅キャンペーン公式ガイドブック」施設情報掲載　・「旅行ガイドブックぼうけんものべ」施設情報掲載　・「わおマップ」施設情報掲載
Ｒ６	18	5	C	・香南市健康サイクリング開催　（計２回）　・2/1　親子ライド開催 ・5/5　こどもの日レンタサイクル無料貸出を実施（※子どもは無料）・7/1～12/31　「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」実施
Ｒ７	20	3	C	・香南市健康サイクリング開催　（計２回） ・5/5　こどもの日レンタサイクル無料貸出を実施（※子どもは無料）・

■評価及び課題の整理

市のサイクルイベントでは当施設を利用し、市民の方に施設を広く周知することはできている。しかし、健康サイクリングの実施回数の減少等により目標件数には届かない結果となっている為。市のイベントだけでなくサイクリングターミナル独自のイベントの開催や、外部団体での施設の利用も斡旋していく必要がある。

「香南市 自転車を活用したまちづくり計画 令和 8～10 年度（案)」
パブリック・コメント結果について

1. 概要

香南市の自転車推進計画は R3 年に策定され国の自転車推進計画とその都道府県版である「高知県自転車活用推進計画」を踏まえて策定されました。

計画の基本理念として R3～R7 年度までをフェーズ 1、R8 年度以降をフェーズ 2 としており、今年度がフェーズ 1 の最終年度になる事から来年度以降の自転車推進計画の計画(案)を作成しました。

本計画(案)に対し、市民の皆様から貴重なご意見をいただきましたので、結果を公表します。

2. 実施状況

(1)	募集期間	令和 8 年 2 月 17 日（火）～令和 8 年 3 月 19 日（木）まで (30 日間)
(2)	閲覧場所	・香南市役所 本庁 4 階 商工観光課 ・赤岡支所・香我美支所・夜須支所・吉川支所
(3)	パブリックコメント提出方法	・香南市役所本庁 4 階商工観光課、または、各支所に持参 ・電子メール　・郵送　・ファクシミリ　・電子申請システム
(4)	周知方法	・香南市ホームページ　・香南市公式 LINE

3. 募集結果

1.	意見件数	1 件(1 人)
2.	提出方法内訳	持参 1 件(1 人)

3.　　ご意見の概要、回答、対応

NO.	該当箇所	ご意見の概要	回答	対応
1	● 環境分野　サイクリストにやさしい環境づくり ● 安全で安心な自転車通行環境の整備	車が実質的に優先となっていため、サイクリストに注意するよう看板などを設置して注意喚起を促すべきである。	ご意見をお寄せいただきありがとうございます。本計画では、自転車利用者の安全確保を重要目標の一つとしております。ご提案いただいた注意喚起看板の設置は、安全対策の一つとして参考になるご意見と受け止めております。 設置にあたっては、関係法令や基準、道路管理者との調整が必要となりますが、今後、実現の可能性や効果を検討するとともに、通行空間の見やすさの向上や啓発の取組も含め、安全対策の充実に努めて参ります。	貴重な意見として参考にさせていただきます。

4.　担当

〒781-5292　高知県香南市野市町西野 2706 番地
香南市商工観光課 観光振興係
TEL： 0887-50-3013　 FAX： 0887-50-3014
MAIL<shoukou@city.kochi-konan.lg.jp>

香南市自転車を活用したまちづくり計画（**自転車活用推進法に基づく香南市自転車活用推進計画**）
フェーズ 1～フェーズ 2 への移行を見据えたアクションプラン改訂

令和 8(2026)年 3 月

編集・発行　香南市商工観光課

〒781-5292 高知県香南市野市町西野 2706
TEL: 0887-50-3013／FAX: 0887-50-3014
E-mail: shoukou@city.kochi-konan.lg.jp